競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

- (1) 2022年1月1日にWA競技規則TR5の改正と、新たな「競技用靴に関する規程」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長及び競技役員はいつでもシューズチェックすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になる。競技後にシューズの違反が認められた場合は審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは招集時に行う。)

靴底の厚さに関する規程(TR5.2) 表

種 目	靴底最大の厚さ TR5.5、TR5.2	要 件 ・ 備 考
フィールド競技(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは 40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

なお、本記録会は全フィールド種目で「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規程を適用除外する。

(2) イエローカード(以下、YC)について

- ① WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.15、17.15. 4、25.5、25.19 に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算は無く、種目ごとに累積リセットする。
- ② 同一種目での2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの提示の累積は、当該種目のみに適用する。

(3) 招集所及び競技エリア内で携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を所持または使用することはできない(TR6.3.2)。

2. 入場について

正面スタンド1F及び2F入口を開放する。入場証は不要とするが各校顧問が入場者の把握に努めることとする。観戦は学校関係者のみとし、入場時や観戦中に各校との関係について確認を取ることがある。

3. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方(東側)の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する
- (2) 競技場内での練習は、競技開始の30分前までとする。ジョグはレーン外を使用し、1~2レーンは長距離ペース走用とする。その他のレーンについては下記のとおり。

【1日目】

[ホームストレート]

3~6レーン=コーナーからのスプリント練習、7~9レーン=直線からのスプリント練習

[バックストレート]

3~7レーン=リレー練習、8レーン=女400mH、9レーン=男400mH

※リレーバトン練習は1→2走・3→4走は第2コーナー、2→3走は第3コーナーで行うこと。各校で使用したリレーのマーク(テープ)は必ず取り除くこと。

【2日目】

[ホームストレート]

3～7レーン=直線からのスプリント練習、8レーン=100mYH、9レーン=110mJH

[バックストレート]

3～6レーン：コーナーからのスプリント練習、7～9レーン：直線からのスプリント練習

- (3) 競技場内はメディスンボールなど、物を投げる練習は禁止とする。
- (4) 投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の手指示で練習してもよい。

4. 招集について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

※混雑時にはマスクの着用を推奨する。

- (1) 招集場所は、室内練習場南側に設ける。
- (2) 招集は競技開始時刻前の下記時刻で行う。

招集時間	トラック	跳躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	90分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	80分前

- (3) 競技者は招集開始時刻には招集場所に待機し、競技者係より点呼を受け、ナンバーカード、腰ナンバーカードおよびスパイクピンの確認を受ける。
- (4) 招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、**第一種目の招集完了時刻までに「多種目同時出場届」**を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならないが、提出をした第2種目は代理をたてる必要はない。
- (5) リレー競技について
 - ①オーダー用紙は、各ラウンドの**第1組の招集完了時刻の1時間前までに**招集所に提出すること。(用紙はプログラム巻末にあるものを利用する。)
 - ②招集完了時刻前であっても、一度提出したオーダー用紙の変更・差し替えは認められない。
 - ③一度オーダー用紙を提出した後の変更は、招集完了時刻までに総務に申し出たうえで、大会本部が任命した医務員の判断がない限り認められない。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、走順の変更は認められない。
 - ④オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。多種目に出場していて、多種目同時出場届の提出が完了している場合は、代理の必要はない。
- (6) 点呼後、招集所から競技場内へ移動する場合、競技役員や補助員の指示に従うこと。
- (7) 完了時刻に遅れた者は欠場として処理する。やむなく欠場する場合は、競技当日の招集開始時刻までに競技者係へ欠場届を必ず提出すること。用紙はプログラム添付のものを印刷し使用すること。

5. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。トラック種目では、腰ナンバーカードを招集開始前に招集場所で受けとり、パンツの右側やや後方に付けること。なお、4x400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつける。
- (2) スパイクピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。また先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック種目はすべてタイムレースとする。
- (4) フィニッシュした競技者は本部前を通らず、バックスタンド前を通ってスタート地点に帰ること。
- (5) 競技エリア内に通信機器（携帯電話等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んではいならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (6) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。
- (7) フィールド種目について

①トップ8を行わない。

②走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。

③走幅跳・三段跳は1組（メインスタンド前トラック側）、2組（メインスタンド側）で行う。

走高跳は第一曲走路内側で行う。棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。

棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。

④バーの上げ方は下記のとおりとする（予定）。※走高跳・棒高跳とも練習の高さは現地で決定する。

男 走高跳	2年：現場判断 練 1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降 3cm ずつ 1年：現場判断 練 1.50-1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降 3cm ずつ
女 走高跳	2年：現場判断 練 1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降 3cm ずつ 1年：現場判断 練 1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降 3cm ずつ
男 棒高跳	1・2年とも：現場判断 練 2.60-2.80-3.00-3.20-3.40-3.60 以降 10cm ずつ
女 棒高跳	1・2年とも：現場判断 練 2.00 以降 10cm ずつ

⑤砲丸投を除き、投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。

⑥投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

(8) フィールド競技の試技制限時間（単独種目）

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

(9) 長距離種目について

①胸・背に別アスリートビブスを使用する場合がある。

②グループスタートを行う場合がある。グループ分けは出発係の指示に従うこと。

③3000mSCの第1ハードルの位置が、2周目以降移動するので注意すること。

④競技運営上、ラスト1周で5000mは18分30秒、3000mは13分30秒、3000mSCは13分、男子5000mWは33分、女子5000mWは37分をこえる選手は審判長が競技を打ち切る。

6. やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。

7. 抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、当該校顧問から総務員に口頭で申告し、総務員が審判長に取り次ぐ。

8. 各種目・各学年6位入賞者に表彰状があるので、表彰係まで取りに来ること。

9. 競技場の使用について

(1) 横断幕・ノボリの設置は南北の芝スタンド（土盛スタンド）後方およびバックスタンド後方のみとする。

(2) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。

①南北の芝スタンド（土盛スタンド）の中段より下

②メインスタンド中段通路より下側および記者席からフィニッシュ側すべてのエリア

※テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。

(3) メインスタンド記者席は座って観戦してもよいが、占有（場所取り）は禁止とする。

(4) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。

(5) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

(6) 更衣室は競技者の更衣のみの利用とし、短時間で済ませシャワーは禁止とする。更衣室内ではマスク着用を推奨とし会話は控え、清潔に使用し私物を置かないこと。

10. 免責事項について

- (1) 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
 - (2) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
 - (3) J アラート警報が発令された場合は、競技を中断する場合がある。
- 1 1. その他
- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
 - (2) プログラムの配布冊数は参加人数より決める。冊数は別頁に記載してある。
 - (3) 補助員は各校 1～2 名出ること。補助員分担は別頁に記載してある。
 - (4) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない。)
 - (5) 撮影は許可証(正面玄関 1F 入口で発行)を必要とし、当該生徒のみの撮影とする。
 - (6) 混雑する場所ではマスク着用を推奨する。
 - (7) 声を出して応援するときは、前後の間隔に配慮すること。
 - (8) 盗難が発生しているため貴重品等の持ち物の管理は各校・各自で注意すること。
 - (9) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。
 - (10) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)大会結果は、大阪陸上競技協会の WEB サイト(大阪高体連陸上競技専門部 3・4 地区)に記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。
 - (11) 2日目(23日)の開門抽選は、22日(土)13:00～13:15の間に1階エントランスで行う。
 - (12) 大阪高校総体 1 日目(8/15)の開門抽選は 23 日(日)13:00～13:15 の間に 1 階エントランスで行う。

第 78 回大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部(中央大会)について

日程：8月15日(火)・8月16日(水)・8月17日(木)

場所：万博記念競技場

※本年度はすべての種目でシード選手・チームを含む合計数とする。

1. 大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部(大阪高校総体)への出場者は以下のとおりとする。
 - ①100m・200mは1・2地区で上位24名、3・4地区で上位24名の合計48名。
 - ②400m・800m・1500mは1・2地区で上位20名、3・4地区で上位20名の合計40名。
 - ③ハードル種目および3000m以上の長距離種目は1・2地区で上位16名、3・4地区で上位16名の合計32名を出場とする。
 - ④4×100mRは地区予選会に参加申し込みをした全チーム。
 - ⑤4×400mRについては1・2地区で上位32校、3・4地区で上位32校の合計64チーム。
 - ⑥競歩種目は地区予選会において4つの地区の記録上位者とシード選手の合計15名。
 - ⑦フィールド種目は1・2地区で上位12名、3・4地区で上位12名の合計24名。
 - ⑧全国IHに出場する者はシードされ、今大会に参加申込した種目すべて大阪高校総体に出場できるが、この大会には出場できない。参加申込は必ず行うこと。(シード選手がエントリーメンバーに入っているリレーチームもシードされ、今大会に出場できない。)但し、4×100mRはオープン参加ができる。
 ※シード選手(リレーも含む)は、近畿IHまでのベスト記録をエントリー時に記入すること。
 ※シード権を放棄し出場することもできる。
 - ⑨地区予選会申込時にエントリー数が①②③④の予選会通過人数を下回る場合は全て本大会に出場できる。尚、エントリー数が一方の地区で①②③④の予選会通過人数に満たない場合、もう一方の地区から大阪高校総体出場枠を増やす。
 - ⑩地区順位決定のための抽選を行うことがある。
 - ⑪その他詳細については各地区主任より連絡する。
2. 大阪高校総体の出場辞退について
 - ・大会2日目終了後20分以内に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。今大会終了後の辞退は受け付けない。
3. リレーメンバーの変更について

中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了までにリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。今大会終了後の変更は受け付けない。

(変更のある場合のみ提出すること。変更のない場合は提出しない。)

4. 同記録が出た場合

- ①トラック種目については規則第 167 条に従う (資料あり)。
- ②走幅跳・三段跳・砲丸投については、セカンド、サード記録で決定する。
- ③円盤投・ハンマー投・やり投・走高跳については抽選とする。

資料

規則第 167 条 同成績

2. (着順ではなく) 時間を元にして 166 条 3 (b) によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は 0.001 秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。

上記規則により 1/1000 秒着差あり それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。

※中央大会の出場者の通知は、連絡事項とともに、8 月上旬を目途に顧問あてにメール送信する。

その内容で参加者一覧表を作成のうえ、原則 8 月 15 日(火)に提出すること。

なお、その後の追加連絡は、随時、高体連 HP に掲出予定のため随時ご確認ください。

※中央大会への申込は、地区委員が行うので学校別に申し込む必要はない。個人種目 1 種目 500 円、リレー種目 1,000 円、プログラム代金 1 人 500 円(出場者責任購入のこと)を地区予選時に配付する振込用紙で後日連絡する期日までに振り込むこと。その際、学校番号等、振込用紙に記載必要な項目はすべて記入すること。